

平成 30 (2018) 年度第 5 回 (通算第 7 回)
研究ブランディング事業推進委員会 議事録

会 議 名	研究ブランディング事業推進委員会	委員長	等々力	副委員長	根本
	委員：木藤、廣田、益山、矢崎、山本、赤羽(研)、中村(礼)、柄山、中村(文)、近藤			欠席：田邊、松尾、松島、飯澤	
	協力員：水野、熊谷、土井				
開催日時	平成 31 年 3 月 20 日	15 : 00 ~ 17 : 30	会場	4 号館大会議室	
議題・報告・連絡事項			審議・報告・連絡等の概要		
<p>通算第 6 回研究ブランディング事業推進委員会議事録の承認</p> <p>【審議事項】</p> <p>1. 原村との「春夏秋冬チャレンジプロジェクト」の業務委託契約について</p> <p>2. ‘S’ ウェルネスクラブ松本 (城西病院) への健康運動指導士派遣契約について</p> <p>3. 2018 年 (平成 30 年度) の事業報告について</p> <p>1) タグフィットネスの効果検証事業</p>			<p>通算第 6 回研究ブランディング事業推進委員会議事録の確認、承認がなされた。</p> <p>2019 年度、現在進行中のタグフィットネス活用事業に加え、年 4 回健康教室等を実施する「春夏秋冬健康チャレンジプロジェクト」のうち 3 回をブランディング事業推進室で受託契約することについて説明がなされ、審議の結果、異議なく承認された。</p> <p>4 月より、‘S’ ウェルネスクラブに、健康運動指導士として近藤委員と土井協力員を派遣する契約について説明がなされた。業務は、火曜日(全日)と木曜日(半日)、クラブにきたお客様に運動指導等を実施するものであり、異議なく承認された。</p> <p>2018 年 (平成 30 年度) に取り組んだ諸事業について、資料をもとに、概略以下のとおり報告がなされた。</p> <p>① 企業従業員を対象としたタグフィットネスの効果検証事業</p> <p>企業従業員を対象としたタグフィットネスの効果検証事業として、(株)池の平ホテル&リゾート及び関連協力企業、エア・ウォーター(株)、(株)村瀬組等含め計 17 社約 363 名の計測を実施した。現在、池の平ホテル関連企業は 2 度目の計測を実施中である。エア・ウォーター(株)では、4 月中に 1 度目の計測がすべて終了予定である。村瀬組ではすでに全社員 2 度目の計測が終了している。</p> <p>2 度目の計測を終了している企業自体は少ないものの、各形態測定項目や体力測定項目、心理面の一部に改善傾向がみられそうである。また個別に見ると、TAGFITNESS の効果がみられ、5 月の日本ウォーキング学会で発表予定である。</p>		

	<p>② 自治体住民を対象としたタグフィットネスの実施</p> <p>原村の住民 100 名を対象としたタグフィットネスの実施について、年間 3 度の計測が終了している。なお、結果は現在集計中であるが、プログラムへの参加率や活動量計データの吸い上げ率が低いなどの課題がみられる。</p>
<p>2) シンポジウム・セミナー等の開催</p>	<p>2018 年度に推進室主催(共催)で実施されたシンポジウムやセミナーは、2018 年 5 月 24 日(木)のキックオフシンポジウム、2019 年 2 月 4 日(月)にタグフィットネス導入検討企業を対象とした企業対象特別講座の 2 件、推進室共済で実施されたものは、2018 年 9 月 20 日(木)に大塚製薬主催で実施された健康経営ライブオンセミナーの 1 件である。</p>
<p>3) 推進室員の活動</p>	<p>研究ブランディング事業推進室、推進室員の活動内容について紹介・報告がなされた。主な活動内容は以下のとおりである。</p> <p>① 審議事項 3-1)①②の参加企業従業員と原村住民に対する体力測定及び運動指導、データ管理等の実施</p> <p>② 「タグフィットネス」に関する広報・販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タグフィットネスに関するパンフレット制作 ・企業を対象としたタグフィットネスの営業活動 ・タグフィットネスのデモンストレーション実施(3 回)
<p>4) ブランド・アンケート調査</p>	<p>中村(文)委員より、県内企業・団体・自治体・病院を対象としたブランド・アンケート調査について、紹介・報告がなされた。</p> <p>調査は日経メディアマーケティング(株)に委託し、長野県内の企業・団体・自治体・病院など計 2487 社に対して郵送式で実施し、有効回収率は、約 20%と郵送式アンケート調査としては高い回収率であった。</p> <p>結果としては、松本大学の認知度は非常に高かったものの、ブランディング事業が採択されたことや、タグフィットネスの認知度については十分ではなく、今後より周知活動を広めていく必要がある。</p>
<p>5) ヘルス・ツーリズムに関する企画</p>	<p>益山委員より、ヘルス・ツーリズムに関して、2018 年度の報告と 2019 年度の計画について、別紙資料をもとに概略以下のような説明がなされ、承認された</p>

	<p>【2018 年活動報告】</p> <p>① (株)JTB 主催「交流」「健康」まちづくりヘルスケアセミナーへの参加</p> <p>主として、自治体向けに、少子高齢化が進む地方都市の交流人口・関係人口の増加を図る事例や研究実績についてであった</p> <p>② 県内企業(ホテル業)訪問</p> <p>県内で宿泊業を営んでいる企業の広報室長との面談を実施。ヘルス・ツーリズム認証についての話を伺った。今後は、本学とも連携し、科学的な検証に基づいた、ヘルス・ツーリズムの商品造成を検討していく。</p> <p>その他、関連企業や法人等に訪問し、セミナー開催の協力や、事業への協力等について打ち合わせを実施した。</p> <p>【2019 年活動計画】</p> <p>③ コンサルティング企業との協同によるモニターツアーの実施</p> <p>上記 3-5)②の企業以外に、コンサルティング企業も含め、モニターツアーを作成していくことが提案され、承認された。今後、コンサルティングにかかる費用等を踏まえて検討し、進めていく。</p> <p>④ ヘルス・ツーリズム講演会</p> <p>2019 年 10 月～12 月を目途に、本学に松本大学認定ヘルス・ツーリズムの将来的な展望を内容とする講演会を、宿泊関連企業や旅行産業関連団体等の協力を得て実施することが提案され、承認された。</p> <p>⑤ ヘルス・ツーリズムおもてなしガイド養成講座</p> <p>3～5 回の連続講座で、ガイドの養成講座を実施することについて提案がなされ、承認された。</p> <p>今後、「松本大学認定ヘルス・ツーリズム」に関しては、企画(モニターツアーの作成・実施) → 認定(イニシアチブの獲得) → 推進(ツアーの実施・ガイド養成)の流れで進めていく</p> <p>等々力委員長より、2018 年度の事業決算について別資料をもとに報告がなされ、異議なく承認された。</p> <p>2019 年(平成 31 年度)の事業計画について、資料をもとに、概略以下のような説明、紹介がなされ、承認された。</p>
4. 2018 年度決算について	
5. 2019 年(平成 31 年度)事業計画について	

<p>1) 業従業員を対象とした「タグフィットネス」の効果検証事業について(継続)</p>	<p>業従業員を対象としたタグフィットネスの実施について、上記3-1)①の業従業員に対し、今年度も体力測定や運動指導、データ管理を継続して実施する。計17社約363名の効果検証を継続していく。</p>
<p>2) 業従業員を対象とした「タグフィットネス」や体力測定の実施(新規契約)</p>	<p>業従業員を対象とした「タグフィットネス」に関する2019年度の新規契約(見込みを含む)は、約150名の(株)ホンダカーズをはじめ、約233名の予定している。</p>
<p>3) 自治体住民を対象とした「タグフィットネス」や体力測定の実施</p>	<p>自治体住民を対象とした「タグフィットネス」や体力測定の実施については、2018年度の原村に加え、松本市、安曇野市でも実施する計画であり、計3自治体で約450名が見込まれる。</p>
<p>4) 摂取カロリー推定アプリの開発について</p>	<p>根本副委員長より、業従業員を対象としたタグフィットネスの栄養管理として、摂取カロリーを推定できるアプリの開発することが説明、提案され、承認がなされた。</p> <p>一般の人々を対象としたアプリにするため、なるべく簡単な仕様にし、使いやすいアプリを作成する。廣田委員や水野協力員にも協力していただき作成していく。</p>
<p>5) 「契約指導員」システムの整備・運用</p>	<p>等々力委員長より、タグフィットネスの実施企業や自治体の増加が見込まれるため、今後より「契約指導員」を拡充していくことが提案され、承認された。</p> <p>なお、提案に関連して、「派遣業法」との関係について同法に抵触する可能性があるのではないかとの意見が出され、今後、慎重に扱い、確認することとした。</p>
<p>6. 2019年(平成31年度)の予算について</p>	<p>等々力委員長より、2019年度の事業予算について別資料をもとに報告・提案がなされ、異議なく承認された。</p>
<p>【報告事項】</p>	
<p>1. 研究ブランディング事業の打ち切りと関連説明会について</p>	<p>等々力委員長より、平成31年3月8日(金)に文部科学省によって開催された説明会の内容や今後の方針について、別資料をもとに報告がなされた。</p> <p>ブランディング事業が来年度をもって打ち切りになり、今後</p>

は、事業化を行うことも検討していく必要がある。

ブランディング事業の打ち切りに伴って事業選定大学は私立大学等改革総合支援事業への採択を得られる可能性があることから、選定を目指す方向で取り組む必要がある。

以上